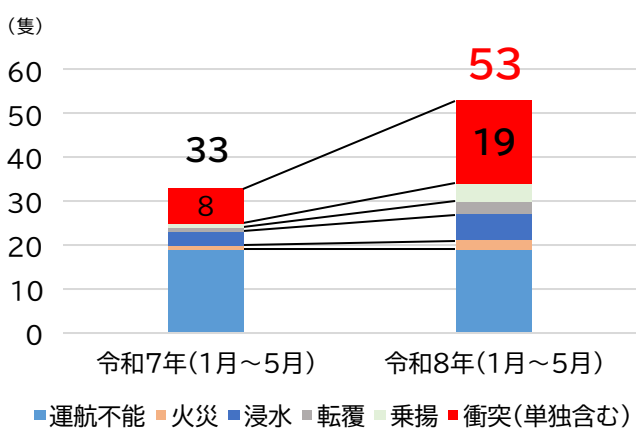




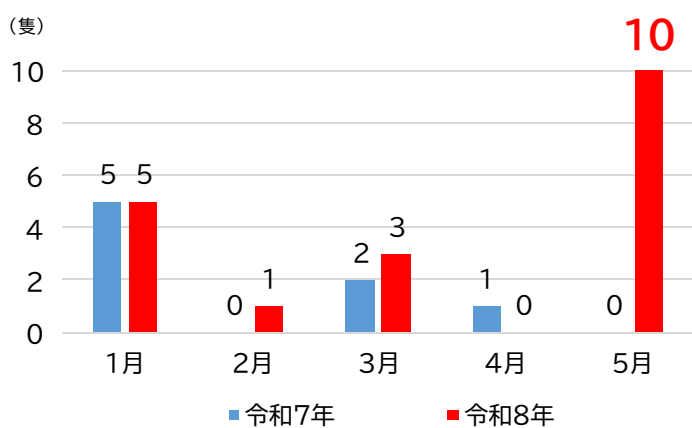
# 小型船舶による衝突事故が多発！

命と財産を失う可能性があります

東北地方における船舶事故隻数の比較



衝突事故(単独含む)の発生状況 月別



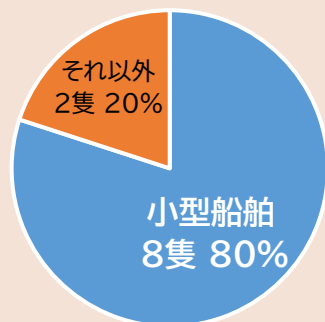
東北地方における1月から5月末までの令和8年船舶事故隻数は**53隻**であり、令和7年の同期間と比較すると**20隻増加**し、**衝突事故(単独含む)**が8隻から19隻に**増加(約2.4倍)**しています。

また、令和8年に発生した衝突事故(単独含む)を月別に見ると、**5月**に増加しています。

トン数別に見ると、**小型船舶(20トン未満)**が**8割**を占めています。

そのうち殆どの事故が**見張り不十分等**の**人的要因**で発生しています。

トン数別



# 1. 見張り不十分とは？



「見張り不十分」とは、**周囲の状況や他船の動向を目視やレーダー等により確認し、常時適切な見張りを行う義務を怠ることを**言います。

衝突事故の主な原因は「見張り不十分」です。

# 2. どういうケースが多い？



見張り不十分の要因は、**自動操舵中の漁労等作業、魚群探知機・航海計器・携帯電話を注視したままの操船等**、操船中に他のことに傾注し、相手船を認識することなく衝突に至っている場合が非常に多くなっています。

# 3. 衝突事故を防止するためには？



航行中はもちろんのこと、**自動操舵中、漂流中や作業中**においても、目視をはじめとした**様々な手段を用いて見張り**を実施することが重要です。

衝突事故防止の一つとして、**AIS(船舶自動識別装置)**を導入し、活用することも有効な手段です。

**AIS搭載なしの事故発生確率**は搭載ありと比べると、**約2～3倍**となるという調査結果もあります。

# 4. AIS(船舶自動識別装置)とは？



AISとは、**船舶の位置、針路、速力**等の海の安全に関する情報を**自動的に送受信するシステム**です。

機能を簡略化・小型化して価格を抑えた**簡易型AIS**であれば、**約10万円程度**から購入することができ、**無線従事者の資格がなくても操作**できます。

(ただし、無線局の免許申請は必要です)

目視による見張りの徹底はもちろん必要ですが、事故により大切な財産を失わないためにも、AISを搭載しましょう！

# 5. 参考情報



## ○AISに関する支援制度

AIS設置漁船には、**漁船保険料を最大20万円助成**される制度がありますので、各都道府県の日本漁船保険組合支所にお問い合わせください。

## ○AIS普及啓発リーフレット「衝突事故防止にAISが有効」

(総務省、国土交通省、水産庁、海上保安庁)

右の二次元コードから詳細を確認してください。



第二管区海上保安本部 海の安全推進本部(交通部安全対策課)

〒985-8507 宮城県塩釜市貞山通3-4-1 TEL022-363-0111(代表)



海の安全情報 WaterSafetyGuide

